

# 一般質問

市は、登別市次世代育成支援推進協議会に公立保育所の民営化について諮問し、民営化を検討すべきとの答申を受けたことを踏まえ、民営化の方向性を検討している。保護者への説明のあり方については、十分な周知期間を設け、広く市民の意見を求めるとの答弁であった。

また、避難訓練のあり方とその取り組みについてたまたところ、避難訓練は、町内会が自ら行うことと考える。また、研修会を通じて避難訓練の実施を促していくとの答弁であった。



保育所民営化の  
検討と防災について  
佐々木 久美子



岡志別の森運動公園  
に屋根付き休憩場を  
二瓶 秀幸

岡志別の森運動公園のパークゴルフ場は、多くの市民などに利用されているが、突然の雨の避難場所や団体利用の休憩場所として、屋根付きの休憩場の設置が必要ではないか。

現在テントを2張り設置しているが、休憩場の増設は必要と認識している。今後整備の手法などについて協議を進める。

カルルス・サン・スポーツランドは必要なのか今後の方向性を示せ。

廃止も視野に入れ、カルルス温泉の振興の点から地域の方々と協議する。



市長の所信表明に  
ついて  
木村 純一

第4信条「結」第一「元気に満ちた地域福祉の仕組みづくり」、第二「健やかな暮らし・見守る福祉の推進」について、市の見解は。

近年、支援を必要とする高齢者や障がい者などが地域から孤立し大きな社会問題になっている。

未然防止策として「小地域ネットワーク事業」が展開されており、今後は今まで以上に地域住民、町内会、民生委員、福祉・医療機関などと連携を図りながら、見守り体制の充実に努める。



市長所信表明に  
ついて  
杉尾 直樹

第1信条の「安心して暮らせる登別の創造」から、①防災・減災の視点での都市基盤整備について、②消防体制の充実・強化並びに消防団の位置づけについて、③行政職員の体制と訓練などの実態について質問。

また、第5信条の「行政経営から都市経営へ」における構想から、①都市経営を推進する上での市民に求める具休案について、②市役所組織機構の再編と人事制度構築などに対する具体的構想について質問し、市民要望などを含め提言した。



小中学校の規模と  
配置の適正化について  
成田 昭浩

少子化に伴う小中学校の規模、配置の適正化の現状と今後の課題について。

小中学生の人数と学級数については、昭和57年の8千900人、27学級をピークに減少傾向を示し、本年度は3千663人、19学級となっている。今後の少子化により学校規模が縮小することは否めないが、社会資源の有効活用を図ることが大切である。学校に誇りを持ち古里に愛着を持てるような学校のあり方を考えていく。現状では少人数学級、小規模校になるところもあるが、当面、統廃合についての考えはない。



政策実現の  
「財源確保」について  
天神林 美彦

2期目に臨む「市長所信表明」から、今後の市政運営の根幹となる「5つの信条」の実現を図るため、重点政策として示した「14政策」の推進に向けた財源確保に対する考えについて。

政策実現のための財源確保については、既存事業のスクラップアンドビルドなどによるメリハリのある事業選択、国・道の補助制度や財政支援制度の積極的活用、さらには官民の新たな役割分担における「新しい公共」の推進など、多角的な取り組みにより、さまざまな主体の協力の下で進める。



震災の今後と大津波  
の避難経路について  
工藤 健二雄

記憶にもまだ新しい東日本大震災から1年半がたつが、震災地域の復興がなかなか進まない。また国が、広域で震災がれきの受け入れはしないことを決定したことに伴い、当市では想定していた木材チップは、受け入れる必要がなくなったが、そのほか、職員派遣など、できることはないのか質問した。また、北海道から大津波による浸水予測図が示されたが、避難の仕方や自主防災の考え方、防災グッズを通して、自分の身は自分で守るのが重要で、備えが必要であると提言した。